



アクテノン

NO. 89

名古屋市演劇練習館機関紙

エッセイ

■ どこまでやるか～爺々婆々俳優!



森 剣 (俳優館)

2012年6月、広島県のF市で業界の会議があり、その懇親会の席上で旧知に出会った。人形劇歴60年の京都の人形劇屋で、日本各地を回って人形劇をしているわたしと同じ年共に77歳のN氏である。付き合いは40年近くにさかのぼる。当時名古屋のM会館の経営を任せられ150席のM小劇場の責任者(劇場支配人)であった私はそのホールがスペース的に多様な舞台空間と考え、芝居の上演のほか人形劇、落語、現代舞踊、ジャズ、フォークのコンサートを多数企画した。そこに何度も訪れて人形劇を上演してくれたのが他ならぬN氏であった。その出会いがきっかけになってお互い冗談交じりに「先は短い、何かしようか」と。年齢もわかまえずに。とっさに浮かんだのがMade In おふたり座。かれは何年か前に京都の大手の劇団から離れて“おひとり座”というなんともちんけな一座を立ち上げ人形劇で生業を立てていたので変わったことがしたいと思ったのであろう。

何となく面白味を感じたのでさっそくあれやこれや考えることにした。そして浮かんだのが“小泉八雲”であった。実はその前年、意欲満点、旺盛な創作力で、さあこれからと言うときに急逝してしまった日本舞踊のBさんと約束していた企画であった。Bさんとわたしの日本舞踊と語りのコラボレーション芝居のネタが小泉八雲であった。踊りながらお芝居をしたがっていたBさんにおおいにお芝居をしてもらおうと。わたしが作と演出、出演も兼ねるつもりであった。

N氏は酒の席で口走っただけで次の日には忘れてしまっていたが、しかし、そこからがわたしのプロデ

ューサー業の因果で、小泉八雲の怪談でN氏の人形芝居の技を生かす企画をまじめに考え始めた。

そこで、その道で頼りになる木村繁氏に相談した。小泉八雲をやりたいんだと。木村さんも乗り気になり、そして出てきたのが、小泉八雲“怪談”ファンタジー「ヘルン氏のごわいかこわくないかわからない話」という何ともすっきりしない題名の戯曲であった。いろいろ別の題名を考えてみたものの名案浮かばず、たしかに、小泉八雲の怪談はこわいかこわくないかわからない話でもあるわい。Bさんが再び現れたらどんな顔をやるだろう。わたしも出して～と言うに決まっている。

だが爺くさい二人じゃ色気がない。幽霊は女性に限る。そこでベテランの女優さんを交えた小さな座組をつくろうと、放送劇60年の藤岡広子さん、オペラを歌って50年の寺本久美子さんを誘った。座名はおふたり座だが四人の一座である。年齢を合わせてみると300歳を超える。変なところで喜んでる稚気あふれる一座が誕生した。

2013年5月、ひまわりホールで旗揚げに漕ぎ着けた。チラシにも書いたけど取りあえず2015年度まで上演を続けよう。やってくさるところがあれば、幸いその後時々上演の依頼が来るので、いまじゃ生きている甲斐があるというものだ。元気をいただいて誠に幸せである。

四人の俳優の平均年齢は今年満80歳を迎えた。昨年度でひとまず最初の区切りは終わったはずであるが、まだ一、二年は続けられそう。まわりは気が気でないようだ。勘弁ね。

トピックス

■ 「出会いに感謝」



団 則倫 (魂刀流志伎会 名古屋道場)

私は「剣を通して豊かな人生を育む」をモットーとして、立廻を通した本当の自分と向き合える空間作りをテーマに、この中村区で活動しています。

様々なご縁があり、昨年ではミラノ万博公認イベント「日本の祭典2015」にて、イタリアの方々から日本の本格的な文化をお伝えすることができ恵まれた日々でした。舞台リハーサルでは言葉の壁にも負けず、本番ではアートという共通言語により言葉が分からなくとも我々のイメージをなんとか伝えることができ、全世界に共通する、音・踊・感情の素晴らしさを痛感しました。

そして、アクテノンでお世話になり早2年。様々な出会いがありました。その中でも、このアクテノンで日々稽古に励んでいたからこその出会いから、モダンダンスを中心に活動されているアクテノンフェスティバル実行委員長の寺原幸さん、日本舞踊でご活躍の花柳磐優さん、そして津軽三味線処いこい講師の松永兼治さんとのコラボレーション企画が生まれました。

それは一昨年のフェスティバル本番での事です。我々の本番終了後、寺原さんが私の所に駆け寄り、「ちょっと会わせたい人がいるんだけど」

私を今まさに本番を終えた出演者の所へ連れて行き、「この方、津軽三味線の先生なんですけど、来年彼とコラボしてみない？」といわれました。その時は簡単に同意したのですが、後から考えてみたら僕に出来るだろうか？と自分に疑問を感じ始めました。しかし、こん

な経験はなかなか出来ない、お客様にもより楽しんでいただけるのではないだろうか？そんなイメージが脳裏をよぎりました。そして、「これはいけるかも！」と感じ始めたのです。

時は過ぎ、さらに花柳磐優さんの出演も決まり、こんな贅沢な事はあり得ないと感じ始めました。そして初稽古。ダンサーである寺原委員長監修という事もありスムーズに初稽古が終了。その映像を家に持ち帰り、嫁に見せてみたところ「なかなか面白いかも。」と言われ、ようやく自信が持てました。

そして、当日。ほとんどリハーサルの時間はなく、各団体の演技を見守る。割と空間のある野外ステージ。自分達で全てを使いきり最高の表現をすれば、お客様との一体感が生まれるのではないだろうか？

そんな事を考えながら本番の時間へ。用意された音楽が流れる。調子の良い津軽三味線の響き。伝統ある優美な扇子の舞。

そして、その全てを受け入れようとする剣の舞。みんなが一つになる心地良いひと時。

そして最後の演技を終え後ろを振り返り階段を歩いて最後の見栄を切ろうとした時、徐々に湧き出るお客様の大きな歓声。「よっ日本ー！」や「良かった！」との声が客席の方から聞こえました。

私はその時、アクテノンに出会えて自分も良い時間を過ごせたと感じました。

アクテノン・シャワー

「アクテノン20周年記念企画展」のお知らせ

演劇練習館[アクテノン]は平成27年12月1日に開館20周年を迎えました。
これを記念して企画展を開催いたします。
配水塔→旧中村図書館→演劇練習館への変遷が垣間見れる資料を公開いたします。

日時：平成28年2月16日(火)～3月13日(日)(月曜休館)
9:30～19:00(最終日は17:00まで)
入場無料

場所：名古屋市演劇練習館1階資料コーナー
皆様のご来場をお待ちしております。

主催・問合せ：(公財)名古屋市文化振興事業団 演劇練習館[アクテノン]
TEL:052-413-6631 FAX:052-413-6632

協力：名古屋市

※内容等につきましては演劇練習館までお問い合わせください。

駐車場がありませんので公共交通機関をご利用ください。

写真・動画募集しています！

アクテノン20周年企画展に合わせ、Facebook内で写真・動画を募集いたします。
アクテノン利用者の皆様からのアクテノンにまつわる写真や動画をお待ちしております。

募集期間：平成28年2月16日(火)～3月13日(日)

応募資格：アクテノン利用者

募集写真：①演劇練習館アクテノンおよび稲葉地公園内で撮影された写真・動画
②アクテノンご利用中の写真・動画

注意事項：・投稿された写真はアクテノン1階資料コーナーにて公開されます。
・写真・動画内で団体のPRやメンバー募集等、是非行ってください。
・動画を投稿する場合はYouTube等の動画サイトにアップロードしたうえで、
アップロードされたURLをコメント欄へ入力することも投稿できます。

募集場所：演劇練習館[アクテノン]Facebookページ内 イベント「アクテノンとわたし」

応募の上、ご来館時に事務所にて投稿画面をお見せ頂きました方には、ささやか
ですが粗品をご用意いたしております。奮ってご応募ください。

アクテノン利用団体紹介

①発足年 ②団員数 ③主な上演作品/会場(上演年) ④連絡先

演劇 交響劇団 星座セプテット



交響劇団 星座セプテットです。「星座」と書いて、「ほしやどし」と読みます。気軽に、「星セブ」だとか「セプテット」なんて読んでいただけたらと思います。メンバーの好きを集めた名前ですが、星座のようにひとつひとつの光点が結びあって、ひとつの出会いと物語になれば、という想いもこもっています。「楽しい」を、メンバー同士、そしてみなさんと、たくさん共有したいなぁと想い描いて、活動をしています。どうぞお見知りおきください。

アクテノンに一言 お世話になっております。いつもギリギリに延長申請をしてすみません。とても助かってます！これからもよろしくお願いいたします！

①2014年 ②4名
③『きらきらきらり』/ナビロフト('14年) 『朝日と森の結び目』/ナビロフト('15年) 『ジュヴナイルディス』/ナビロフト('15年)
④☎090-9197-2803
E-mail:hoshiyadoshi.7tet@gmail.com

演劇 大名



関西学生演劇で育った秋吉慎也、未彩紀、紺野ぶどうの3人が偶然名古屋の地に集まったことから発足。団体名は偉そうだが、各自の強みを活かした丁寧な芝居を創るべく奮闘中。
2014年は大阪のウイングカップ4最優秀賞受賞団体「私見感」の黒井工三氏書下ろし作品を、2015年は石川の泉鏡花記念金沢戯曲大賞受賞作家の中空よおい氏書下ろし作品を上演。勢いそのままにミソゲキにも参加し、大きな反響を得た。
活動し始めて日は浅いが、ヴィジュアルワークへの拘りは大きなものがある。

※ミソゲキとは 名駅にある小劇場「ナンジャール」と名古屋の演劇情報サイト「名古屋演劇アーカイブ」の共同企画として、2010年大晦日に「ミソゲキ！」という名前で開催された大晦日演劇イベント。

アクテノンに一言 大阪から名古屋にやってきて、初めてアクテノンを見たときの衝撃は今も忘れません。「名古屋市演劇練習館」！すごい！！今でもお世話になっております。これからも、お世話になります。

①2014年 ②6名
③『ウミガメのスープを飲んだ。』/翔UPファクトリー('14年) 『まばたきするまに』/gallery+cafe blanka('15年) 『レイヤー』/ナンジャール('15年)
④twitter:@daimyou5
E-mail:daimyou12345@gmail.com

公演のご案内

★アクテノンの利用団体の公演をご案内します。 ①会場 ②日時 ③料金 ④問合せ先

劇団アルクシアター 『ビートルズになりたかった ドクターたち』	① 愛知県芸術劇場小ホール ② 3月4日(金) 19:00、5日(土) 14:00 19:00、6日(日) 11:00 16:00 ③ 前売3,500円 高校生以下前売2,500円 ペア6,600円(前売・予約のみ) ④ ☎080-3683-0423 劇場でお待ちしております
演劇組織KIMYO 演劇組織KIMYO Project "NICK" vol.4 『河童の雨乞い』	① 名古屋市千種文化小劇場(ちくさ座) ② 3月10日(木) 19:00、11日(金) 14:00 19:00、12日(土) 14:00 19:00、13日(日) 11:00 16:00 ③ 前売2,800円(当日3,000円) 各種割引あり ④ ☎090-3932-1935 kimyo-na-yatsura@hotmail.co.jp 群馬・栃木の伝承をKIMYOがリメイク！
劇団 テアトロ☆マジコ 第7回公演 『屋根裏部屋にメリー・ポピンズ』	① 名古屋市千種文化小劇場(ちくさ座) ② 5月27日(金) 14:00 18:30、28日(土) 14:00 18:30、29日(日) 13:00 17:30 ③ 前売2,800円(当日3,000円) 中学生以下前売1,800円(当日2,000円) ④ ☎090-8130-7823(劇団) magico2012@yahoo.co.jp 東風吹く月夜の天窓から現れたのは傘さす影の謎の人。世界に不思議などありはしない。
劇団Mtasty (ムテイステイ) ドラマ 『Blue Rose』	① 有料サイト(5月に正式発表します) ② 6月20日(金) 20:00よりオンエア ③ 1,000～2,000円 ④ info@mtasty.com エムス初の映像作品です。ブログ等で要チェック！！



編集発行/平成28年2月25日(年4回)

公益財団法人名古屋市文化振興事業団 [演劇練習館 [アクテノン]]

〒453-0841 名古屋市中村区稲葉地町1-4-7

TEL 052-413-6631 FAX 052-413-6632

※この印刷物は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

